



2018年2月6日

各位

会社名 横河電機株式会社  
 代表者名 代表取締役社長 西島 剛志  
 コード番号 6841 東証第一部  
 問い合わせ先 経営管理本部 IR部長 小林 倫崇  
 Tel 0422-52-6845

特別損失(減損損失)等の計上及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成30年3月期第3四半期決算において、以下の通り特別損失(減損損失)等を計上することとしました。これに伴い、本日開催の取締役会において、平成29年5月10日に公表した平成30年3月期の通期連結業績予想を以下のとおり修正することを決議しましたのでお知らせいたします。

1. 特別損失(減損損失)等の計上について

平成28年4月に買収した英国子会社:KBC Advanced Technologies Limited(以下、「KBC社」)において、買収後の急激な油価下落など事業環境の変化により、期日後1年以上回収が遅延している一部の売上債権に対して貸倒引当金を27億円計上いたしました。

これに伴い、KBC社、Soteica Visual Mesa LLC、Industrial Evolution, Inc.で構成するKBCグループの事業計画を見直し、このうちKBC社及びIndustrial Evolution, Inc.が当初計画に対し遅れて推移していることから、のれん等減損損失89億円を特別損失として計上いたしました。

2. 業績予想について

平成30年3月期 通期連結業績予想数値の修正 (平成29年4月1日～平成30年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	400,000	36,000	35,500	27,000	101.04
今回発表予想(B)	400,000	33,000	34,000	20,000	74.84
増減額(B-A)	—	△3,000	△1,500	△7,000	—
増減率(%)	—	△8.3	△4.2	△25.9	—
(ご参考)前期実績 (平成29年3月期)	391,433	31,608	33,014	25,759	96.44

前提為替レート1米ドル=110円(変更なし)

修正の理由

売上高は、制御事業が堅調に推移していることなどから予想に変更ないものの、前述の貸倒引当金27億円の計上等により、営業利益予想を330億円、経常利益予想を340億円に修正しました。

また、親会社株主に帰属する当期純利益予想につきましては、前述の特別損失89億円を計上する一方、当第3四半期決算において投資有価証券売却に伴う特別利益を計上したことなどから、200億円に修正しました。

### 3. 配当予想

期末の配当予想につきましては、年初に公表した利益配分に関する基本方針「株主の皆様に対する利益還元は経営の最重要施策の一つと認識し、利益成長を通じて安定的・継続的な増配を目指す」に基づき、業績及び資金の状況、中長期的な成長投資に向けた内部留保の確保、及び財務体質の健全性などを総合的に勘案した結果、平成 29 年 11 月 7 日に公表した1株当たり 15 円に変更ありません。

	年間配当金				
	第 1 四半期末	第 2 四半期末	第 3 四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年 3 月期	—	12.50	—	12.50	25.00
30年 3 月期	—	15.00	—		
30年 3 月期（予想）				15.00	30.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 4. 今後の KBC グループ

お客様基盤の共有による共同営業活動で成果が出始めるなど、KBC グループは、当社グループの今後の成長戦略に必要不可欠です。

これからも、KBC 社が有するコンサルティング能力の最大活用を通じた課題解決型 OPEX(※) ビジネスや、リファイナリ以外の業種におけるコンサルティングビジネスと収益モデルを確立し、事業拡大を目指すとともに、ガバナンスをさらに強化していきます。

なお、KBC 社のビジネスモデルの当社グループ内への展開を含む今後の事業計画については、次期中期経営計画に合わせて策定していきます。

以 上

(※)OPEX:Operating Expenditure の略語